

## 医療や福祉を支えていただいている方へ 感謝の気持ちと祈りを込めて黄ぶなの折紙を折ろう

地域の子どもたち・保護者の皆様へ

大人も子どももみんなが不安な気持ちになるなか、心が温まることをしてみませんか？  
皆さんの思いを黄ぶな折紙に込めて医療・福祉に係る施設に贈りたいとおもいます。

◆中学生のみなさんへ 祈りを込めて折ったものはBOXへ入れてください。

◆小学生のみなさんへ 折り方が難しいのでお家の人と一緒に折って飾ってください。

折り方はyoutubeでも紹介されています。

**「黄ぶなの」折り方**  
(折り方は伝本折紙の金魚と同じです)  
※ハサミ使用時はご注意ください


猫の中に隠し事を書いて  
番号順に折っていくよう  
「早く当りますように」

- ①目玉の面を内側へ半分に
- ②左右の角を合わせる
- ③④両端を上へ折返し
- ⑤⑦左右に開く
- ⑥目玉の面を折り上げる
- ⑧点線で折る
- ⑨中に指を入れて開き
- ⑩尾びれの先を頭に合わせる
- ⑪右端を中心まで折り
- ⑫太線の位置をハサミで切り
- ⑬尾びれを広げ折り込む
- ⑭お腹を膨らませながら  
尾びれを閉じる
- ⑮お腹を内側へ折り込む
- ⑯の状態へ戻す
- ⑰尾びれを整えてできあがり！

「折り紙黄ぶな」の折り方は  
下記にも紹介されています

検索 宇都宮の歴史と文化財  
イラスト集

折り方図はコチラ



**黄ぶなの伝説**

昔、天然痘という病気が大流行し村人は一生けん命お祈りをしました。

ある日ひとりの村人が病気の人のために食べてもらおうと、田川で魚釣りをしたところ黄色い不思議な鯛をつりあげました。

病人がその鯛をたべたら病気が治りました。このことから、村人たちは病気よけとして黄ぶなの形をしたものを新年に備え無病息災を願うようになりました。



保護者の方へ  
お子様はさみを使うとき、お家の方は注意してあげてください。

「折り紙黄ぶな」の利益金は宇都宮社会福祉協議会ごんなん募金や東日本大震災義援金など、社会のために役立てられています。

この「折り紙黄ぶな」は著作権及び関係者の許可を得て作られています。